

原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の
継続的な収集及び評価への反映等のための取組に基づく報告について（概要）

1．検討内容

平成 24 年度における国の機関等の報告、学協会等の大会報告・論文、雑誌等の刊行物、海外情報等の公開情報を収集対象として、そのうち原子力施設の耐震安全性に関連する可能性のある情報を選定し、原子力施設への適用範囲・適用条件、耐震安全性評価への反映の要否等の観点から、検討・整理した。

2．検討結果

原子力事業者に共通する情報（以下、「共通情報」という。）並びに、柏崎刈羽原子力発電所、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所及び東通原子力発電所（建設中）固有の情報（以下、「個別情報」という。）については、津波に対する発電所の安全性評価への反映が必要な新知見情報として柏崎刈羽原子力発電所に 3 件、東通原子力発電所に 2 件あった。

a．共通情報

分野	反映が必要な 新知見情報	新知見 関連情報
活断層	0	0
地盤	0	0
地震・地震動	0	1 2
建物・構築物	0	0
機器・配管系	0	0
土木構造物	0	0
津波	0	1
合計	0	1 3

b．個別情報

発電所名	反映が必要な 新知見情報	新知見 関連情報
柏崎刈羽原子力発電所	3	0
福島第一原子力発電所	0	1 5 ¹
福島第二原子力発電所		
東通原子力発電所（建設中）	2	1 3 ¹

1：福島地点及び東通地点の重複情報（1 2 件）を含む。

原子力施設の耐震安全性に係る新知見については、原子力発電所の耐震安全性向上の取組みに反映していくとともに、今後も継続的にこれらに係る知見の動向を注視し、必要に応じて原子力発電所の耐震安全性向上の取組みに反映していく。

今後とも、原子力発電所の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集に取り組んでいく。